

『愛知用水パネル展』

水土里ネット愛知用水

令和2年10月17日（土）、大府市にあるJAあぐりタウンげんきの郷にて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年恒例となりました「受益地域と水源地域との交流イベント～愛知用水と水源の森～」に代えて、「愛知用水パネル展」を開催しました。

このパネル展は、令和3年9月30日に通水60周年を迎える愛知用水について、広くPRすることを目的としています。

「愛知用水の歴史」、「土地改良区の仕事」、「受益地で作られる作物」といった愛知用水の紹介や「水源地域」を紹介するパネルを展示するとともに、愛知県知多農林水産事務所、(独)水資源機構愛知用水総合管理所、(公財)愛知・豊川用水振興協会にご協力いただき、愛知用水が多くの人達の苦労の上に建設された歴史や、愛知の農業用水の役割について来場者にお伝えしました。

当日は、小雨が降り、肌寒い天候にもかかわらず、多くの方々にご来場いただき、来アンケートにもご協力いただきました。アンケートには「スタッフの方が熱心で気持ちが伝わりました。愛知用水の60年がよく分かりました。」といったお言葉や、「愛知用水は子供のころからよく聞いていた言葉ですが、こんなに長く南知多町まで伸びている事は知りませんでした。」などのご感想をいただき、愛知用水への関心を深めていただく有意義なイベントとなりました。

このようなイベントを通して、地域の農地やそこに流れる水に興味を持っていただけたら幸いです。



パネル展の様子